

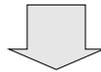
第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

授業日	11月10日(水)	活動場所	4年1組教室	児童数	36名	指導者	清水 萌絵
単元名	人にやさしい町にしよう～話し合おう～						
探究課題	地域で生活している様々な立場の人々とわたしたちの町						
単元の目標	様々な立場の人々と交流する経験や調べ学習を通して、支え合って生きることの大切さに気づき、自分の意見や思いをもって工夫や改善を加えながら学習を進め、ともに生きる地域の人のことを考えて自分にできることを実践する。						
児童観	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域は急勾配や段差などが多くあり、誰に対してもやさしく住みよい町であるとは言えないと児童は考えている。 ・車椅子体験や高齢者疑似体験を通して、介助の必要性について実感を伴った理解ができています。また、介助には他者を思いやる気持ちが何より大切であることを実感している児童もいます。 ・盲導犬ユーザーや身体に障がいのある方と交流することで、自分を含む様々な立場の人々が幸せに生きていける社会を実現したいと考える児童が増えた。 						
教材観	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたい課題を決定し、住みよい町にするための活動の見通しを持って計画することができる。 ・地域の高齢者や障がいのある方など様々な立場の人々のことを考えて活動することで、自分が地域社会に役立っていることを実感できる。 ・友達との話し合いを通して、お互いの考えの共通点や相違点を共有しながら活動することができる。 						
指導観	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習全体を通して、児童に福祉的なものの見方や考え方が広がるようにする。 ・自分が考えたことを相手に応じた的確な方法で表現することができるようにする。 ・誰にとってもやさしく、住みよい町づくりにするため、自分にできることを考えて実践させる。 						
評価規準	知識・技能 (A)		思考・判断・表現 (B)		主体的に学習に取り組む態度 (C)		
	① 概念的な知識の獲得	地域には様々な立場の人々が生活しており、ともに平等な生活を過ごしていくことが大切であることを理解している。	① 課題設定	体験活動や交流活動を振り返り、自分が追究する課題を設定している。	① 自己理解・他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気づき、理解しようとしている。	
	② 自在に活用することが可能な技能の獲得	課題解決のためにKJ法を使い、必要な情報を収集する方法を身に付けている。	② 情報収集	課題解決や実践のために必要な情報をインタビュー、WEB、再体験などふさわしい手段で収集している。	② 主体性協働性	課題解決に向け、他者と協働して取り組み、その大切さに気付いている。	
	③ 探究的な学習のよさの理解	誰にとっても住みよい(やさしい)町づくりのために、自分にもできることがあると分かり、それが探究的に学習してきた成果であると気付いている。	③ 整理分析	収集した情報を分類整理し、必要なものを取捨選択して活用している。	③ 将来展望・社会参画	自分と地域とのつながりに気づき、ともに生きる地域のことを考えて自分にできることを実践しようとしている。	
		④ まとめ・表現	相手や目的に応じてまとめ、分かりやすく的確に表現している。				

小単元「まちを知ろう・体験しよう」⑳

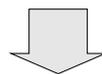
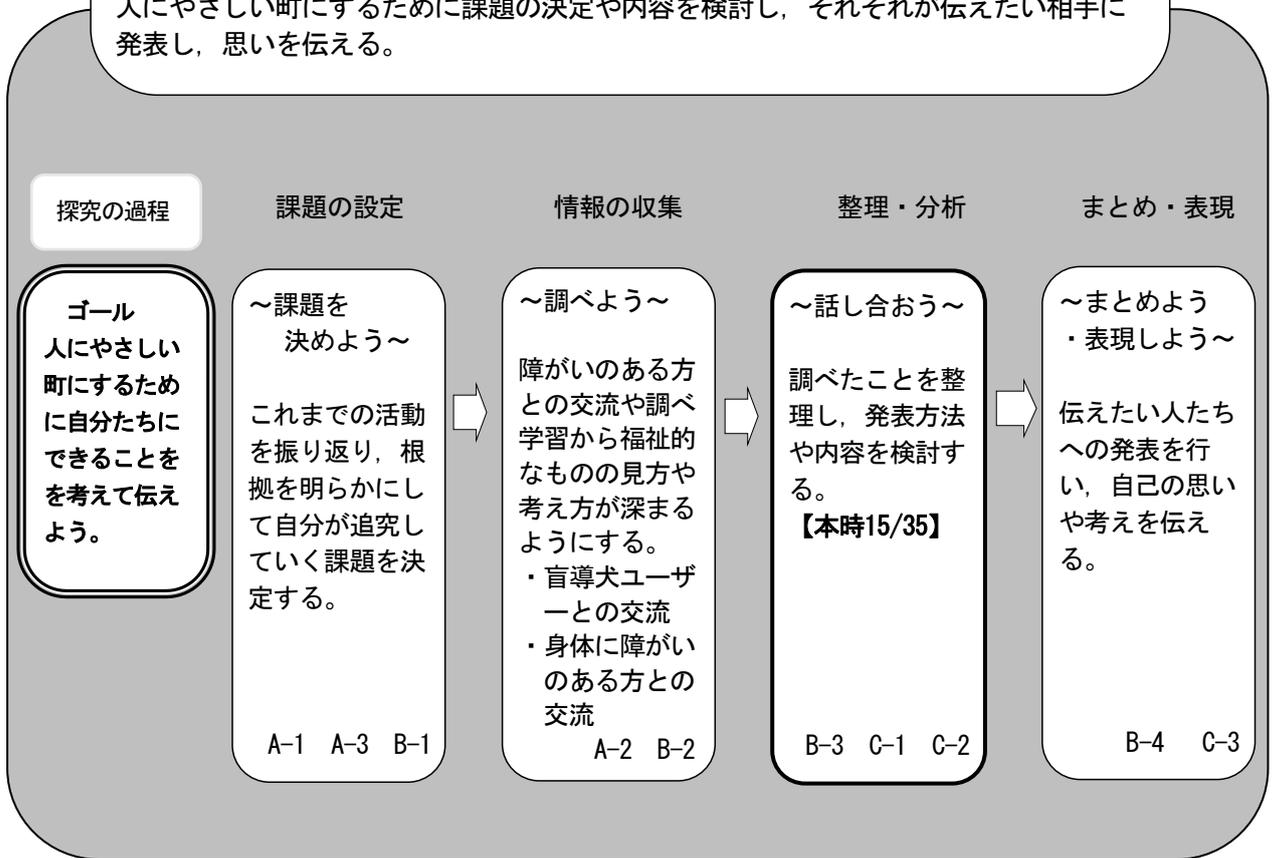
地域には様々な立場の人々が生活していることを理解するとともに、様々な立場の体験を通して人々の思いについて考える。

- ・車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験、ニュースポーツ体験



小単元「人にやさしい町にしよう」㉕【本時15/35】

人にやさしい町にするために課題の決定や内容を検討し、それぞれが伝えたい相手に発表し、思いを伝える。



小単元「自分にできることを考えよう」㉖

学びを生かしてこれからの自分の生き方を考える。

本時の目標	人にやさしい町にするために、グループでの話し合いを通して伝えたい事を明確にし、友達の意見を尊重しながら伝える内容を決める。
--------------	---

※国語科「クラスみんなで決めるには」と教科横断的な学習として実施する。

児童の活動	○教師の支援 ◆評価規準及び評価の方法
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人にやさしい町にするために、伝えたい事を話し合って決めよう。</p> </div>	<p>○前時までの学習を振り返ることで、学習の見直しをもつことができるようにする。</p>
<p>2 人にやさしい町にするために、何を伝えたいかグループで話し合う。</p> <p>KJ法を用いて、伝えたいことを明確化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う視点をもつ。 ・自分の考えを付箋に書く。 ・同じ班の友達とよく似た付箋をまとめる。 ・付箋をグルーピングし、タイトルをつける。 	<p>○児童の考えや思いを把握し、話し合いが円滑に進むよう適切に声かけをする。</p> <p>○ポートフォリオを用いて学習の過程を振り返ることで、自分の考えの変化にも着目して話し合いが深められるようにする。</p> <p>○質問や友達の考えに自分の考えをつけ足すようにすることで、友達と意見を尊重し合えるようにする。</p> <p>◆（C-1 観察、話し合い）</p>
<p>3 グループごとの話し合いで決まったことを報告する。</p>	<p>○話し合ったことを発表することで今後の活動への意欲を高められるようにする。</p> <p>○KJ法に見える化された学びの過程を意味づけることで、グループ同士、友達同士の考えを尊重し合えるようにする。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>○振り返りシートを書くことで、次時への見直しをもたせる。</p>

本時の評価	「十分満足できる」と判断される状況	自分の考えを主張しながら、相手の思いにも共感し、折り合いをつけながら話し合いを進めている。
	「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	児童の考えや思いも大切にしながら、友達の意見にも目を向けられるよう促す。